

未来へつなぐ 土地利用型農業の推進

遊休農地を活用した研修用ほ場において研修生の水稻耕作

地域農業の未来へ！！

- ★ 新たな地域農業の担い手確保と技術向上
- ★ 耕作放棄地の解消
- ★ 学校給食の主食米として提供（日本一の給食へ）

就農希望者

遊休農地

今年度は、3名が研修中
・農大卒業生 1名
・地域おこし協力隊 2名
※9月に新たに1名着任

市農業公社



新たな担い手育成

耕作放棄地対策

【給食米の耕作】

田植え

稲刈り



目標 ・耕作放棄地の未然防止、解消
・学校給食米全量確保（20ha、100t）

連携

農福連携

県農林業の知と技の拠点

県農林技術センター
農業大学校
やまぐち農林振興公社



福祉事業所

農業大学校への入学
研修等への参加
6次産業化

給食米の無償提供

小・中学校給食の充実

11月から開始 毎週水曜日



集落営農法人等へ就職



(株)ファーム大道
農業大学校
土地利用学科1期
令和7年4月
卒業生1名入社



土地利用型農業を進めるためのほ場整備

これまでに完了したほ場整備

地区名	面積
大道北	113ha
岩淵	34ha
小俣	24ha
上り熊	39ha
下津令	43ha
上田真鍋	75ha
6地区	328ha

